



(1) 文化芸術活動の推進、文化芸術を育む人材の育成 <施策 23>

主な取組 ・事業 実施状況	○子どもの文化芸術鑑賞・体験の機会の充実 ・子どもの文化芸術活動を推進するため、舞台芸術等を鑑賞・体験する機会の提供、小・中学校等への芸術家の派遣を実施（鑑賞・体験の機会の提供 5 市町） （芸術家の派遣 小学校 20 校、中学校 5 校、特別支援学校 5 校、児童養護施設 5 施設、院内学級 2 学級 計 37 箇所） ○県立美術館の機能の充実 ・「どこでもケンピ」（バーチャル美術館事業）を運用（年間アクセス数 110,330 件） ・「没後 50 年 高島野十郎展」等の各種展覧会を実施（年間入場者数 100,502 人） ○高等学校芸術・文化連盟^{注1)}、中学校文化連盟^{注2)}への支援 ・芸術文化活動の振興のため高等学校芸術・文化連盟や中学校文化連盟への助成 ○デジタル技術導入による文化財の保存・活用の推進<重点事業 19> ・収蔵品のデータベース化・指定文化財の 3D データの作成を行い、ホームページに公開 ○九州歴史資料館の利用促進、調査・研究の充実 ・九州歴史資料館において、特別展（江戸時代に華ひらいた福岡のやきもの）や教育普及講座（名誉館長講座等）等を開催（入館者数 55,282 人、うち特別展 10,935 人） ・小・中学校の来館学習・出前授業・オンライン授業、出前講座等の実施（参加者数 6,713 人） ○旧福岡県公会堂貴賓館魅力向上推進事業の実施 ・指定管理者によるフラワーレッスン、朗読会、コンサート等自主事業の実施 ○「西の都」大宰府の未来への継承 ・古代都市研究とデジタル教材の作成 ・バスツアー研修の開催 ・関係者が集い交流する研修、東アジア交流をテーマとする歴史講座の開催
成果	○九州歴史資料館では、展示をはじめ、イベント、動画配信、学校への普及活動を通して歴史文化遺産の魅力を様々な方法で発信しました。 ○旧福岡県公会堂貴賓館では、指定管理者による来館促進事業に加え、新聞・TV 等へのニュースリリースなど、広報活動に積極的に取り組み、過去最高の入館者数（34,958 人）を記録しました。 ○県立美術館では、SNS 等を通じた情報発信に積極的に取り組んだことにより、バーチャル美術館のアクセス数が増加しました。
今後の課題 ・対応	●九州歴史資料館における新規来館者の開拓及び学校等との連携促進 ・県内市町村や国立博物館、他県施設と連携した展示・講演会のほか、学校や民間企業と連携したイベント等を実施するとともに、ホームページや SNS 等を用いた広報活動の一層の充実を図り、新規来館者の開拓につながる効果的な情報発信を行います。 ●デジタル技術導入による文化財の保存・活用の推進 ・自然災害等の文化財消滅の危機的状況を踏まえ、デジタル技術導入による文化財の保存・活用を推進します。 ●県民の美術鑑賞の機会の確保、県民の創作意欲の向上 ・県立美術館では、多くの来館者に満足いただける展覧会を開催するとともに、ホームページや SNS を通じた情報発信、移動美術館などを実施し、県民の美術に関する鑑賞・創作活動を更に促進します。 ●「西の都」大宰府の未来への継承 ・大宰府史跡の調査研究、次代の人材育成及び地域交流を促進し大宰府史跡発掘 60 周年に向けて、取組の成果を広く発信します。

IV 文化芸術の振興（1 文化芸術の振興）

指標	現状値（R7 年度）	目標値	達成状況
【県立美術館の利用】 県立美術館入館者数	100,502 人	160,000 人 (R8 年度)	△

注1) 高等学校芸術・文化連盟：県内の高等学校及び高等部を設置する特別支援学校における芸術文化活動の振興を図ることを目的に、福岡県高等学校総合文化祭等の事業を行っている団体。演劇や吹奏楽等 19 の専門部会を有する。

注2) 中学校文化連盟：県内の中学校及び特別支援学校中学部の生徒の文化活動の振興・発展を図ることを目的に、福岡県中学校総合文化祭等の事業を行っている団体。美術や音楽等 11 の専門部を有する。